

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 206	78	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 77	62	ヘルパンギーナ	↗ 6	5
咽頭結膜熱	↘ 70	80	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→ 2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 185	143	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↗ 1001	741	流行性角結膜炎(はやり目)	→ 18	18
水痘	↘ 99	122	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 38	50	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 0	5	マイコプラズマ肺炎	↗ 1	0
突発性発しん	↗ 39	29	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌感染症

● 感染性胃腸炎 報告数: 1,001件(前週:741件)
地区別:山鹿,菊池,有明
年齢別:1歳 154件(15.4%)

● インフルエンザ 報告数: 206件(前週:78件)
地区別:菊池,熊本市,有明
年齢別:10~14歳 43件(20.9%)

● A群溶血性レンサ球菌感染症 報告数: 185件(前週:143件)
地区別:菊池,熊本市,宇城
年齢別:5歳 28件(15.1%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	91	16	27	83	197	20	22	0	13	0	0	1	1	17		1			
山鹿保健所	1	1	0	0	100	3	1	0	3	0	0	0	*	*					
菊池保健所	46	20	38	51	203	40	5	0	15	0	3	1		1					
阿蘇保健所	2	0	0	1	15	1	0	0	0	0	0	0	*	*					1
御船保健所	5	0	0	0	13	1	0	0	0	0	0	0	*	*					
八代保健所	3	3	0	5	123	1	4	0	0	0	0	0							
水俣保健所	3	19	2	5	7	3	0	0	3	0	0	0	*	*					
人吉保健所	1	1	2	8	25	6	3	0	1	0	0	0	*	*					
有明保健所	25	4	0	14	167	3	0	0	3	0	0	0							
宇城保健所	18	7	1	15	104	7	3	0	0	0	0	0	*	*					
天草保健所	11	6	0	3	47	14	0	0	1	0	3	0					1		
計	206	77	70	185	1001	99	38	0	39	0	6	2	1	18	0	1	1	0	1


◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	206	1	2	5	6	9	7	13	20	20	13	6	43	7	6	19	13	6	4	1	5
小児科定点年齢	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	77	17	15	29	10	3	3	7	4	6											
咽頭結膜熱	70			1	20	13	7	7	4	6		1	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	185			5	13	18	20	28	26	25	13	15	19	1	2						
感染性胃腸炎	1001	14	69	154	115	94	87	87	52	59	47	29	83	18	93						
水痘	99	1	7	18	17	17	23	6	4	4	1	1									
手足口病	38		1	15	10	9			1	2											
伝染性紅斑	0																				
突発性発しん	39		17	21		1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	6		2	3		1															
流行性耳下腺炎	2						1				1										
眼科定点年齢区分	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1			1																	
流行性角結膜炎	18			2	1		2	1						1	1	6	1	1	1	1	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1																				
マイコプラズマ肺炎	1																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1			1																	

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 菊池、有明、山鹿、八代、宇城
- 水痘 : 菊池
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 菊池

インフルエンザが流行期に入りました



今週のインフルエンザ報告数は208件でした。前週の78件から約2.7倍に急増し、インフルエンザ流行開始の目安を上回りました。本格的な流行シーズルに入りましたので、楽しい年末年始を迎えるために、一人ひとりがしっかりとインフルエンザの予防を行いましょう。(インフルエンザの予防方法)

- ① 予防接種
- ② 予防接種には、感染後に発病する可能性を低くする効果とインフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があります。予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、早めに予防接種を受けましょう。医療機関によっては、インフルエンザの予防接種が12月で終了してしまうところもあります。
- ③ 手洗い
- ④ 流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを流し落とす効果があります。ただし、洗いすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。意識して長めに手洗いを行いましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。
- ⑤ 咳やくしゃみは他の人に向けてないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは感染者がつけたばかりが、感染予防効果は高いと言われています。

感染性胃腸炎の報告数が1,001件となり、国の定める警報基準値を超えました。感染性胃腸炎も前週の741件から約1.4倍に増加しました。

原因には様々なウイルスや細菌などがありますが、これからの季節はウイルスを原因とするものが増加します。中でもノロウイルスは感染力がきわめて強く、医療機関や社会福祉施設、学校など集団生活の場で流行を起こすことがあります。下記のポイントを参考に、しっかりと予防に努めてください。症状は、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などです。子供の場合、元気がなくなったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに主治医の診察を受けて下さい。家庭では脱水を起こさないよう水分補給に努めましょう。

(ノロウイルスの予防方法)

- ① 生ものは極力避け、85~90度で90秒以上加熱調理しましょう。
- ② 調理の前・後、トイレやおむつ交換の後などは、必ずせっけんて手を洗いましょう。
- ③ 調理器具の使用後は、ときどき亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)に浸して殺菌しましょう。
- ④ 嘔吐物や便を処理するときは、マスクと手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。

感染性胃腸炎が警報レベルを超えました